

6 公園

* ページ上段の建築物の写真や評価等はサンプルです。

* サンプルを参考にしながら、次ページ掲載の評価項目に沿って実際の調査対象施設の評価を行ってください。全ての評価が終わったら、ページ下段の「評価結果」に調査対象施設の評価を書き込み、施設改善に向けて活用してください。

公園（園路）



	0	1	2	3
公平				
簡単				
安全				
機能				
快適				

《総合評価》

配慮された部分とそうでない部分との一体性等、利便性の向上に向け、工夫の余地があるが、いずれの公園も、利用者が自然に接するための園路の取組について評価できる。

《工夫されている点》

○車いすで渚に近づけ、自然を楽しめる工夫がされている（A公園）。

○スロープと階段が選択できる（B公園）。

《努力が求められる点》

○サインや休憩スペースの導入等、長いアプローチへの配慮が必要である（A公園）。

○スロープ幅が狭い。階段にも手すりを設置することが望ましい（B公園）。



A公園



B公園

公園（遊具）



	0	1	2	3
公平				
簡単				
安全				
機能				
快適				

《総合評価》

いろいろな身体状況を考慮し、よく考えられている遊具となっている。

《工夫されている点》

○イス型、ベルト型など、選択肢のあるブランコや手すり付きの階段がある滑り台の形状など、利用の多様性と安全が考慮されている。

○色彩の工夫により、楽しい空間づくりがされている。

《メモ》

○遊具については、安全性を検証するため、子どもの具体的な利用状況を調べる必要がある。



評価結果

評価施設概要

- ・ 名称 _____
- ・ 住所 _____
- ・ 施設用途 _____
- ・ 施設利用者(_____)

	0	1	2	3
公平				
簡単				
安全				
機能				
快適				

5つの視点それぞれについて0～3のいずれかにチェックを入れてください。
* 1以上 = 東京都福祉のまちづくり条例整備基準適合

● 総合評価

● 工夫されている点

● 努力が求められる点

- ・ すぐに改善が可能な点

- ・ 長期的に改善が必要な点

公園につきましては、内容が多岐にわたるため、条例の整備基準適合チェックは割愛させていただきました。整備基準の詳細については「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」(p143～p182)をご参照ください。

総合評価にはチェック欄の結果から考慮して適当な評価基準をつけてください。
チェックその1の項目が満たされていれば1以上になります。

ユニバーサルデザイン度チェック

各視点の空欄には調査建築物独自の特徴等を記入してください。

	留意点	チェック欄	総合評価
公平	主要な鑑賞ポイントや避難場所には、だれもが容易に到達できるような動線を確保する。		0・1・2・3
	出入口では、道路との段差をなくしたり車止めの間隔を見直すなど、だれもが迂回せずに公園に出入りできるよう配慮する。		
	サイン類は、幅広い年齢層や外国人に対応した、効果的で親しみのあるものにする。		
	園内表示は、絵文字の採用や複数言語に対応したものにする。		
簡単	出入口に案内板等を設置し、「だれでもトイレ」やスロープなどの位置が入園時に分かるようにする。		0・1・2・3
	音声による案内が効果的な場所では、音声案内誘導装置の導入を検討する。		
	トイレのドアなどの可動部分は、堅牢性を確保しつつ、少ない力で開閉できるよう工夫する。		
安全	遊具は、年齢や能力の違いなどに関わらず利用できるよう、多様な形状のものを設置する。		0・1・2・3
	遊具から万一転落しても、重大な事故にならないよう舗装材等を工夫する。		
	主要な園路では、夜間でも一定の路面照度が確保されるよう園路灯やフットライトを設置する。		
	園路には、歩行の障害となる位置にフラワーボックスや彫刻などを設けない。		
	子どもや車いす使用者の目線からの死角を解消する。 「バリア」が存在する場所では、それを示すサインを設置する。		
機能	子どもや車いす使用者が草花を楽しめるような、あるいは触れることができるような植栽形態を工夫する。		0・1・2・3
	園内随所で休憩できるよう、広場や鑑賞ポイント以外の場所にもベンチを設ける。		
	動線が錯綜する出入口等の場所では、十分な園路幅員を確保する。		
快適	園内施設の色等々は、周辺景観に配慮しつつ、幅広い年齢層に対応したものにする。		0・1・2・3
	視覚障害者誘導用ブロックや手すり等のデザインについては、機能だけでなく景観にも配慮する。		
	「だれでもトイレ」は日当たりや水はけのよい場所に設け、天窗の設置や天井高の工夫等により開放的な雰囲気にする。		
	音の出るモニュメントや流れの水音など、音の快適性にも配慮する。		